

受付番号

25-013

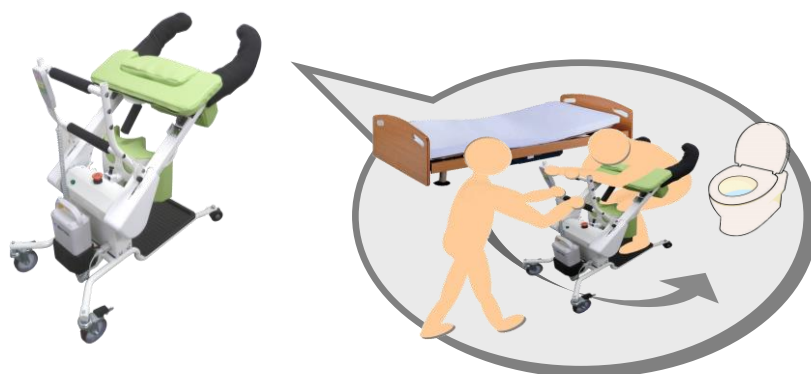
当該機器の概要及び想定する実証試験について

事業者名	(株)今仙電機製作所
住所	愛知県犬山市字柿畑 1 番地

1. 機器の名称 (※仮称でも可)

名称 : i-PAL (アイパル)

写真 :



2. 機器の概要

(1) 対象者、目的、機能、有用性

対象者 : 下肢に機能障害がある方で、何かに捉まれば座位保持ができる方。

目的 : ベッドからトイレに行く際の車いすへの乗り移りや、近くのトイレへの直接の移動を行うもの。

機能 : 電動立ち上げ補助、折り畳み

有用性 : スリングの装着が不要な為、介助負担軽減できる。

電動なので老老介護の場面で楽に移乗介護が可能。

(2) 既存の機器と比べて、優れている点

スリング無しで簡単に立ち上げ補助ができる非装着型の移乗リフト。

(3) 機器に関するリスクアセスメント (安全性の評価と確保対策)

下降時のスライドレールによる足挟み対策

- ・足を拘束するバンドにより足が可動範囲から外れるようにする。
- ・バンドの色を目立つ色にして、足が拘束されていない状態が分かるようにする。
- ・モータの出力パルスにより、挟み込み状態を検知し高負荷が長時間加わらないようにする。
- ・レールの下にクッションを配置し、万が一足を挟んでも怪我をしないようにする。

- (4) 製品の販売開始予定時期
平成 26 年 4 月
- (5) 想定する小売販売価格及び年間販売数
販売価格：200,000 円 販売数：600 台/年
- (6) 想定する顧客（在宅向けあるいは想定する介護施設等の種類等）
主に高齢者介護施設での利用を想定しているが、在宅でも使って頂けるよう
サイズ設定にしている。

3. 想定する実証試験の内容

- (1) 実証試験を行うことにより明確にしたい事項
 - ・ 設定している対象者の正当性
 - ・ 使用できない症状や疾患について医師の見解をもらいたい。
- (2) 実証試験の具体的な内容
 - ・ 被介護者側の評価
乗員保持部のホールド性や立ち上げ時にかかる体への負担
移動姿勢の妥当性
 - ・ 介助者側の評価
移乗介助にかかる操作性（手順や表示の分かり易さ、かかる時間等）
移動時の操作性（移動のし易さ、かかる力、ハンドル位置等）
- (3) 被験者等の要件及び想定人数
約 20 人
- (4) マッチングを希望する実証試験協力施設等の種類
特別養護老人ホームや障害者施設
- (5) 実証試験に関して指導・助言を期待する主な内容及び専門家
病院の先生に、本開発品を対象者の方が使うにあたっての改良点の有無
および、使用ができない方の疾患についてご指導、助言を頂きたい。
 - ・ 高齢者医療に関わる病院の先生
 - ・ 整形、リハビリに関わる病院の先生
- (6) 調査のスケジュール
 - ’13 年 11 月 : 10 人（高齢者の方）
 - 12 月 : 10 人（障害者の方）
 - 1 月 調査結果まとめ